



令和最初の「内田ササラまつり」が8月14日に内田公民館、内田福祉ひろば駐車場を会場として、盛大に開催されました。大型台風の影響や、局地的豪雨の警報が連日出されている中でしたが、当日は強い西日が隠れると、心地よい夕涼みの風が渡り、誘われるように多くの皆さんが訪れました。



17時からの事前イベントでは、スイカ割り、駄菓子屋、ともろこし、わたあめ、かき氷の提供があり、親子連れや子どもたちが思い思いの屋台の前に列を作り、嬉しそうに頬張っていました。今年も明善中学校1年からの3年の生徒28名の皆さんが、ボランティアとして参加協力してくれました。各屋台のグ

# ササラまつり

令和元年9月1日現在

世帯数	989 戸
人口	2,370 人
男女	1,190 人
	1,180 人

元気に接客していました。18時30分からの開会式のあひろば北駐車場にて、「ササラ踊り」が保存会の皆様の尺八・三味線・太鼓の生演奏と小唄の名調子に合わせ行われました。揃いの浴衣や法被姿に交じり、小中学生をはじめまさに老若男女が、やぐらの周りに二重の輪を作り踊りました。昭和51年に「松本市重要無形文化財」第1号に指定されたことなどの解説を保存会長さ

ループに分かれ、手作り看板を手に、実行委員会の町会役員の皆さんと一緒に、準備の段階から仕事に取組みました。かき氷やわたあめの製造受け渡しも、はじめは慣れないところもありましたが、徐々にコミュニケーションよく、



19時からの焼き鳥・焼きそばの提供はあつという間に完売し、最後は恒例のビンゴゲームで盛り上がり、閉会式を終え今年のササラまつりも無事終了しました。伝統の踊りとともに、世代を超えたつながりがある素晴らしいこの行事がますます発展することを願います。

んからいただき、「シャツ、シャツ」と左右に打ち鳴らされるササラ独特の情緒ある音を聞きながら、時代は変わっても変わらぬお盆の風情を楽しみました。踊り終えた中学生に聞くと、小学生の時覚えた踊りも1番2番と進むとしっかり思い出し、気持ちよく踊れたと笑顔で答えてくれました。



観察の後の質疑応答の時間には、子どもたちから多くの質問が出て、先生もうれしそうに答えていたのが印象的でした。予定していた時間は越えてしまいましたが、参加した子どもたちは満足した様子でした。

## 水生昆虫観察会

8月22日(木)、「水生昆虫観察会」が開催され、52人の参加がありました。今年も信州大学の藤山先生に講師をお願いし、水辺の生き物のお話を聞いた後、塩沢川に移動して生き物を採集し、公民館で観察を行いました。

今年は前日に降った雨の影響か、やや水量が多く、昨年より採集できた生き物の種類が少なかつたものの、サワガニ、ヤゴ、ゲンゴロウなどを採集することができました。

第7町会 工藤哲夫

# トウモロコシもぎ取り祭り



今年も農事組合法人内田営農主催、恒例の「トウモロコシもぎ取り祭り」が8月11日に開催されました。夏の太陽を浴び、美味しく育ったスイートコーン。馬場家住宅前の畑、約二分分に3600株余りが丹精込めて育てられていました。一人5000円の入場料で10本もぎ取りお持ち帰りです。9時からの行事開催ですが、30分前には受付付近は長蛇の列が出来ており、好天の朝、熱中症等の心配から、チョット早めに始まりました。小さな子どもさんもお母さんの手を借りもぎ取り、子どもたちには良い経験、そして夏の思い出。参加者は約300名余の大盛況。「毎年来てます」「もぎ立て美味しいから」「そんな声に参加者から聞かれ、定着した楽しいイベントと再認識しました。私も取材そつちのけで、スイートコーンのもぎ取りに汗を流しました。一般に食用「とうもろこし」は「スイートコーン」と呼ばれ、今回栽培されていた品種は「マックコーン」バイカラー種のようなです。一代雑種で黄色と白が3対1程度の割合、バイカラー種は、アメリカ育成で最も甘味が強いとされ、

講師に招き、7月31日の第1回学習講座では、牛伏川の歴史を学び、8月28日の第2回学習講座では牛伏川階段工の現地研修を行いました。9月25日の第3回学習講座で牛伏川の歴史・砂防のまとめを行いました。

## 牛伏川階段工 学習講座

「牛伏川階段工」は、平成24年7月に国の重要文化財に指定され、昨年完成100周年を迎えました。この機会に牛伏川の歴史や砂防施設について学び、併せて一般の見学者を案内できる『ガイド養成講座』が開催されています。「牛伏鉢友の会」代表の加藤輝和さん(第5町会)を

この学習講座には内田地区内を含め近隣の地区の皆さん45名が受講されています。今後、『ガイド』の皆さんを通じてこの素晴らしい施設を大勢の皆さんに知って頂ける事を期待します。



現在日本の「スイートコーン」の主流だそうです。主催している内田営農の皆様感謝申し上げ、次季節開催の「野沢菜祭」を楽しみに現地を後にしました。  
第4町会 小河光正

## 東南ブロック 球技大会

8月25日(日)、第44回東南ブロック球技大会が開催されました。



この大会は、東南ブロック6地区(芳川・寿・寿台・内田・中山・松原)参加者の親睦と、体力向上および社会体育の振興を目的として実施しているものです。

内田地区は次の5種目に出場し、手に汗握る熱戦を繰り広げていただきました。結果は次のとおりです。

- 新卓球 6位
- バドミントン 1位
- ソフトバレーボール
- マレットゴルフ男子 4位
- 軟式野球 4位

## つれづれ編集記

毎年の事ですが、8月8日は檀家である牛伏寺へ大施餓鬼会に行ってきました。昼食をいただいでから法話として「シリア難民と暮しシリア難民を撮る」フォトグラフィアの小松由佳さんのお話を聞きました。

シリア人にとって幸せな人生とは、

「ゆとりをたくさん持つ人生」

「最も大切な物は家族」

と言う。だが、2011年より始まった内戦で罪を犯していない人でも捕らえられたり家族がバラバラになり、難民が増えたと聞く。世界の難民数は約6850万人といわれているとの事。なんと多いことか、母国へ帰りたくても帰れない。

それを思うと争い事もなく衣食住に何とか困らず生活できている今の幸せを改めて感じた法話でした。

第2町会 中島美代子

